

美土里荘フェスティバル



屋内開催も
大盛り上がり

はんの木だより

2014 年
第 55 号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176 (62) 2761



思わずうれし泣き！

去る八月九日（土）、美土里荘フェスティバルが開催されました。前日悪天候だった事もあり、特別養護老人ホームのホールにて行われました。

まず盛田薫総合施設長の挨拶があり、その後来賓の小又勉七戸町長、白石洋七戸町議会議長より祝辞をいただきました。

ゲスト司会者は七戸町出身のタレント、瀬川さとしさん。毎年来て頂いていますが、総合施設長との掛け合いは絶妙で、会場の笑いを誘っていました。

最初のアトラクションは七戸町城北保育園の園児による踊り。園児が揃いの衣装を着て踊る姿に、会場にお越しくださったみなさんやご利用者からは歓声が聞こえていました。またご利用者の中には涙を流して喜んでいらっしゃる方もいました。続いて、ポラリスフラのみなさんによるフラダンス。歌手・北野好美さんによる歌謡ショー。ご利用者も知っている曲目だったため、口ずさんでいました。

今年初めての試みであるミニ運動会。小さいお子さんによるパン食い競争では、パンを手掴みでとってしまう子に、会場から大きな

笑い声が。景品を持つてはしゃぐお子さん達に、みなさん微笑んでいました。

そして最後に、お待ちかねの大抽選会。今年の特賞は、油を使わずに揚げ物を作るノンフライヤー調理器！瀬川さとしさんが番号をいう度に、会場からはため息や歓声が聞こえていました。

また敷地内の模擬店では外部より、「上北ミート」の唐揚げ、「旬夏秋冬」の焼き鳥・たこ焼き・たい焼き・チョコバナナ、「まり」の味噌こんにやく・そばもち・むぎもちなど販売しました。そして美土里会職員による焼きそば・フランクフルト・おにぎりなど、いずれも好評で多くのお客さまにご購入頂きました。

園内では、デイサービスでキッズコーナー、事務所前廊下では「ありがとう。笑顔」フォトコンテストが行われました。

今年的美土里荘フェスティバルは施設内での開催となったため、例年より盛り上がりには欠けるのでは？と心配もありました。しかしご利用者・ご家族をはじめ、多くのお客さまにご来場いただき、また大きなトラブルなく終える事ができました。ご協力頂いた日赤奉仕団七戸分団、七戸高等学校の学生など多くのボランティアのみなさんのおかげだと思います。ご来場いただいたみなさん、本当にありがとうございました。そして来年もお待ちしています。



出番を待つ子供たち



こんなに食べられる！？



朝早くに一番乗り！



裏方屋台も頑張っています



美人受付嬢たち

フェスティバル 写真館



思わず笑顔



さとちゃんは大人気！



ボランティアの皆さん



小又町長とフラダンスチーム！



多くの方がご来場



フォトコンテストも盛況

グループホーム楽

グループホームで八月一九日にバーベキューを行いました。毎年六月〜一〇月の間、二ヶ月に一回行っています。今回は、天候にも恵まれて屋外で行うことができました。外で準備をしている職員を見て『今日なんかあるのが?』『おらも外さ出はつてみるがな』などと話し、皆さんとても楽しみにしていました。お昼になり、全員でバーベキューの開始です!メニューも豊富で、焼き鳥、焼きそば、大阪焼き、ウインナー、魚介、職員の畑で採れたトウモロコシ、施設の畑で採れた新鮮なかぼちゃなどそれぞれ自分の好きなものを取っていただきます。中にはおかわりをする方やお酒を飲む方もいて『たまに外で食べるのも良いなあ』と満足していました。

一〇月にもう一回バーベキューがありますので、みんなで楽しく行いたいと思います。



栄養士・厨房

美土里荘ではご利用者の誕生日に合わせて誕生会を行っています。なんと、言っても皆さんが楽しみにしているのは、栄養士自慢の手作りケーキ!季節の果物をたっぷり使ったフルーツケーキや、とっても甘いチョコレートケーキ、つるんとした触感がたまらないババロアなど、どれも大好評なんです。次は何のケーキを作ろうか考えるのは大変ですが、皆さんから「美味しかった!」という言葉をいただくため、これからも続けて行きたいと思っています。



デイサービスセンター梓



七月九日、七戸高校生との合同園芸活動を行いました。この活動は、デイサービスはじめ美土里会のサービスご利用者と、七戸高校の食品科学系列・福祉健康系列の学生との交流を目的に毎年おこなっており、もう五回以上開催しています。今年は七

高生が育てたマリーゴールドやケイトウなど約千株を敷地内に植え、ご利用者も「きれいだな」「面白かった」と喜ばれていました。当日は東奥日報の記者も取材に訪れ、紙面掲載されました。今後もぜひ、続けて行きたいと思っています。

毎月八のつく日(八日、一八日、二八日)には七戸町内のイベント広場で八の市(市日)が行われています。以前からデイサービスご利用者から「行ってみたい」という声が聞かれてきましたが、今年から不定期に市日に出かけています。希望者のみの参加ですが、やはりなじみの深い地域行事だけあり「久しぶりに来られて良かった」「初めて来たけど楽しい」など喜びの声が多く聞かれました。街中へ出ることはとても大切なことです。で、これからも時間を見つけて出かけたいと思います。



詐欺用心!!

高齢者を狙った
犯罪に注意!

二〇一五年には国民の四人に一人が高齢者となるなど、日本は世界でトップクラスの高齢化社会です。七戸町も高齢者夫婦世帯や高齢者の一人暮らしなどが多く、犯罪者にとっては狙いやすい環境になっています。また、外出時に鍵をかけないという習慣や、今まで安全だったからこれからも大丈夫といった無防備さにも犯罪者はつけ込みます。高齢者の危険を考える上でのキーワードは「無防備」「無関心」「孤独」です。昔の高齢者の社会環境とは大きく変わってきておりそこに留意する必要があります。

高齢者を狙った犯罪では、昨今「オレオレ詐欺」などの振り込め詐欺や悪徳商法、年金詐欺、悪徳リフォームなどがあります。特に詐欺被害の根底には「孤独」があり、被害にあった高齢者は犯人の事を親切に話を聞いてくれた」「親身に相談に乗ってくれた」と話しており、孤独につけ込んでいることがわかります。

高齢者の多くが土地や現金などの財産をある程度持つており、そしてその管理に関してのいきで無防備となつています。被害の一部は認知症の高齢者ですが、それ以外であつても判断するための情報が少なく、結果被害にあつているケースが多いです。そして何かトラブルに巻き込まれても相談する人が身近にいないため泣き寝入りのままということもあります。

以上のような被害にあわないためには、知らない人を安易に信用しない、断る勇気を持つなど自分自身で身を守る事です。そして何より大事なのは社会参加し、相談できる人を見つけることではないかと思っています。



編集後記

フェスティバルや七高生との合同園芸活動、楽しいバーベキューなど、ご利用者は活動的に過ごされていました。その喜ばれている様子を少しでも伝えたいと頑張つて作成しましたがいかがでしたでしょうか?作りながら「思いを伝えるのはなかなか難しいなあ」と感じました。次回も頑張りますので、宜しくお願い致します。(松)